

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称
事業名	499	健康づくり推進事業	会計	01	一般会計
基本	01	10万市民の健康を維持する	款	04	衛生費
策	3	市民主体の健康づくり活動の推進	項	01	保健衛生費
			目	01	保健衛生総務費
			細目	106	健康21推進事業
			細々目	02	健康づくり推進事業
基本計画該当頁			59		
行革大綱の重点事項番号					
担当部課	コード	130900	評価者氏名	清水 健司	連絡先
	名称	健康福祉部 健康推進室			22 - 9653 (内線) 2665

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
健康に関心を持つ市民 (対象件数)	生活習慣病の予防や転倒予防を行い、生活のなかで運動習慣の定着化が図れ、寝たきり予防や医療費削減につながる。
根拠法令・要綱等	伊賀市健康づくり推進条例
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
本年度事業内容	健康ウォーキング 11月の日曜日に健康の保持増進をはかるため、10キロ程度を歩く(19年度は伊賀支所管内) 忍にん体操講習会 伊賀流忍者の特性を活かした健康体操(忍にん体操)を市民に普及啓発し、運動習慣の定着を推進する。 上野ふれあいプラザ、阿山保健センター 健康の駅長養成講座 個人を支える地域活動を充実させるために健康活動のリーダーを養成する。
状況変化等	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額												
委託	↔	委託料		(千円) 2,500	委託料		(千円) 1,750	委託料		(千円) 1,750									
工事		その他		2,232	その他		1,084	その他		1,232	その他		1,300	その他		1,300	その他		1,300
進捗率(%)		事業費計(A) 4,732			事業費計(A) 2,834			事業費計(A) 2,982			事業費計(A) 3,050			事業費計(A) 3,050					
事業投入人員		人件費(B)	0.2 人	1,440	人件費(B)	0.2 人	1,440												
フルコスト(A)+(B)		6,172			4,274			4,422			4,490			4,490					

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費	4,732	2,834	2,982	3,050	3,050	3,050
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	4,732	2,834	2,982	3,050	3,050	3,050
計	4,732	2,834	2,982	3,050	3,050	3,050
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値				目標値	
		H17	H18	H19	H20	H19	H20
伊賀路ウォーク実施回数	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1	1	1
忍にん体操講習会実施回数	回	目標 7 実績 7	目標 8 実績 8	8	8	8	8
健康の駅長養成講座実施回数	回	目標 5 実績 5	目標 6 実績 6	6	6	6	6

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
養成講座参加者	養成講座を通して、自治協議会単位で活動の支援ができる	人	目標 302 実績 302	目標 累計472 実績 累計475	累計655	累計835
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	健康づくりを継続的・計画的に推進し、「健康都市宣言」の実現を図るために支援することが求められている。
有効性	4	健康づくりを各地域で支援できる体制を構築できる
達成度	3	事業達成は予定どおりであるが、支所間でばらつきがある
効率性	3	保健師の参加によりコストをさげる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	講座参加者に支所単位でのばらつきがある